

地球環境問題:地球温暖化対応

温室効果ガス (GHG) 排出量

	万t-CO ₂ e			
	2021年度*1	2022年度	2023年度	
スコープ1	379	340	336*2	事業者の燃料使用等による直接GHG排出量
スコープ2	52	42	37*2	他社から供給を受けた電気、熱の利用により発生した間接GHG排出量
スコープ3	1,341	1,223	1,199	調達、物流および製品の加工・使用・廃棄などのサプライチェーン全体で間接的に排出されるGHG排出量
合計	1,772	1,605	1,572	

*1 2021年度のスコープ1およびスコープ2は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業に係るGHG排出量を除いており、当該排出量はスコープ3(カテゴリー15 投資)に出資比率分(50%)が含まれています。

*2 2023年度のスコープ1およびスコープ2については、第三者検証による保証を受ける予定です。

スコープ3のカテゴリー別内訳

カテゴリー	万t-CO ₂ e		
	2021年度	2022年度	2023年度
1 購入した製品・サービス	308	249	246
2 資本財	4	7	9
3 Scope1&2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	35	30	18
4 輸送・配送(上流)	16	14	9
5 事業から出る廃棄物	2	4	4
6 出張	0	1	1
7 雇用者の通勤	1	1	1
8 リース資産	0	0	0
9 輸送・配送(下流)	7	7	8
10 販売した製品の加工	45	46	48
11 販売した製品の使用	151	163	208
12 販売した製品の廃棄	110	91	89
13 リース資産(下流)		対象となる活動なし	
14 フランチャイズ		対象となる活動なし	
15 投資	662*	611	559
合計	1,341	1,223	1,199

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

*2021年度のカテゴリー15は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業に係るGHG排出量の出資比率分(50%)が含まれています。

部門別GHG排出量 2023年度実績

事業所	万t-CO ₂ e		
	スコープ1	スコープ2	合計
化学部門	320	36	355
国内	230	12	242
タイ	62	22	84
スペイン	28	2	30
UBEマシナリーグループ	16	1	17
合計	336	37	372

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

温室効果ガス種別排出データ

温室効果ガス種別	万t-CO ₂ e		
	2021年度*2	2022年度	2023年度
CO ₂	339	314	322
CH ₄ *1	0	0	0
N ₂ O	92	68	50
HFC*1	0	0	0
PFC	0	0	0
SF ₆ *1	0	0	0
NF ₃	0	0	0
合計	431	382	372

*1 10,000t-CO₂e未満。

*2 2021年度は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業を除いています。

CO₂排出原単位(単位生産量当たりのGHG排出量)

	t-CO ₂ e/t-Lc		
	2021年度*	2022年度	2023年度
CO ₂ 排出原単位	2.521	2.733	2.735

※2021年度は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業を除いています。

エネルギー消費データ

	MWh/年						備考
	2021年度*		2022年度		2023年度		
	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	合計	再エネ由来	
燃料の消費量	8,417,000	0	6,131,000	0	6,066,000	0	バイオマス
購入電力の消費量	800,000	176,000	629,000	160,000	633,000	168,000	再エネ電力
購入蒸気の消費量	1,425,000	0	1,079,000	0	722,000	0	
購入温水・冷水の消費量	—	—	—	—	63,000	0	2022年以前は未算出
自家発(再エネ)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	太陽光発電
合計	10,644,000	178,000	7,841,000	162,000	7,486,000	170,000	

(注)四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※2021年度は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業を除いています。

燃料種別

エネルギー種別	MWh/年		
	2021年度*	2022年度	2023年度
一般炭	6,963,000	5,144,000	5,127,000
灯油・軽油	263,000	157,000	155,000
LNG液化天然ガス	626,000	391,000	340,000
LPG液化石油ガス	138,000	129,000	123,000
石油コークス	0	0	0
重油	201,000	122,000	98,000
副生ガス・油	226,000	188,000	223,000
バイオマス	0	0	0
合計	8,417,000	6,131,000	6,066,000

※2021年度は、UBE三菱セメントグループに移管されたセメント関連事業を除いています。

地球環境問題:水資源の有効活用・フロン排出抑制

水資源の利用状況

UBEグループにおける水資源の利用状況(2019~2023年度)

集計範囲: UBEの国内工場・研究所および生産工場を有する主要な国内連結子会社。詳細はP16に掲載。

			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
取水量(百万m ³)	化学部門	上水道水	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
		地下水	2.0	2.0	2.2	2.0	2.1	
		工業用水	84	81	83	64	67	
		海水	114	107	115	302 ^{*1}	343 ^{*1}	
		小計	200	190	200	369	413 ^{★*3}	
	機械部門	上水道水	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	
		地下水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		工業用水	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	
		海水	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		小計	1.1	1.2	1.0	1.0	1.1	
	合計(UBEグループ)			201	191	201	370	414
	排出水量(百万m ³)	化学部門	下水道 ^{*2}	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			河川・湖沼	2.1	2.1	2.2	2.1	2.2
			海域	156	145	152	342 ^{*1}	382 ^{*1}
小計			158	147	154	345	384	
機械部門		下水道 ^{*2}	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		河川・湖沼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		海域	0.9	0.8	0.8	0.7	0.8	
		小計	0.9	0.8	0.8	0.7	0.8	
合計(UBEグループ)			159	148	155	345	385	

*1 自家発用冷却水(海水)含む。

*2 1万t/年以下の排水量。

*3 ★印は第三者検証による保証を受ける予定。

フロン排出抑制法への対応

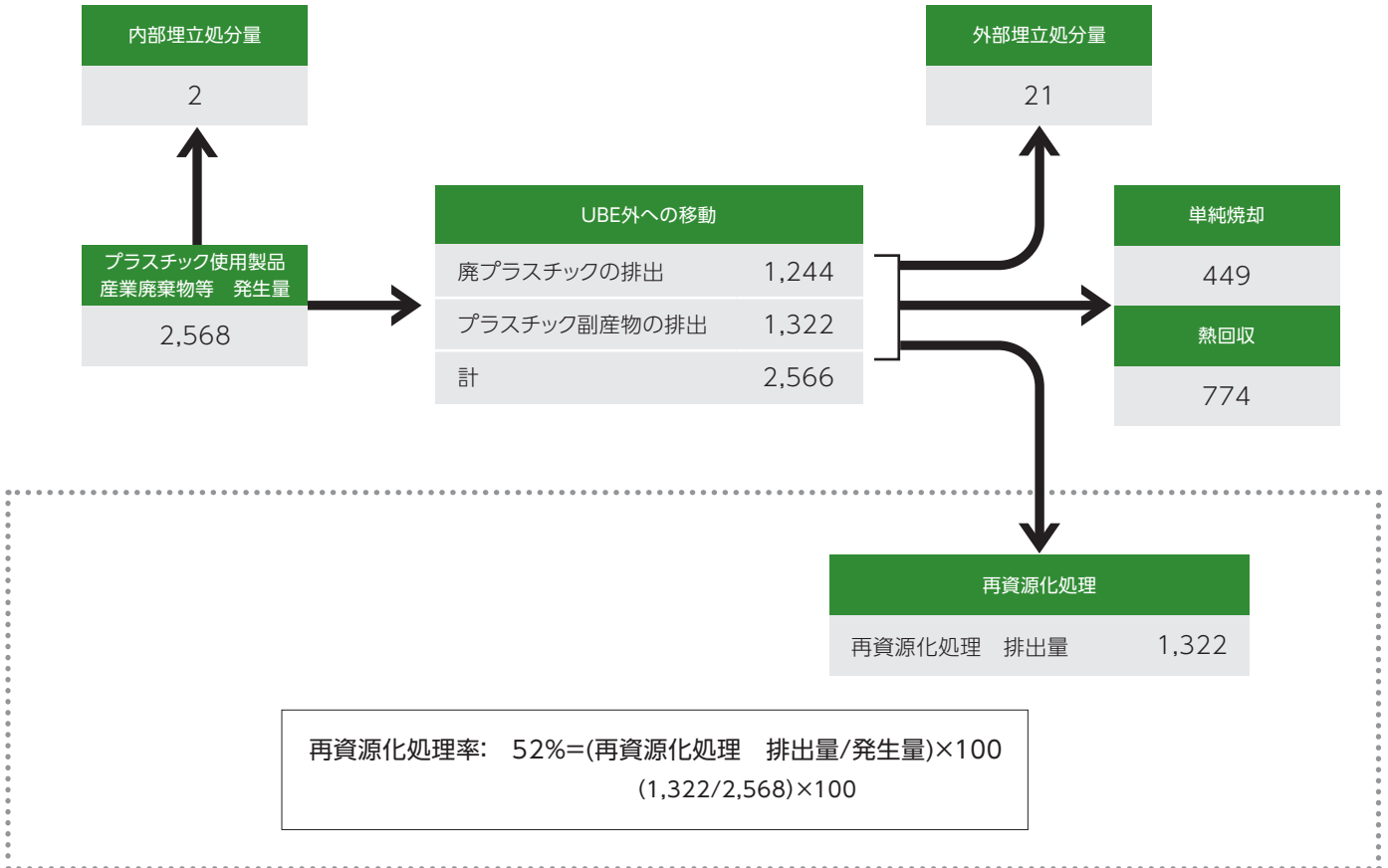
地球温暖化やオゾン層破壊を防止するため、フロン冷媒(CFC、HCFC、HFC)の漏洩抑制を目的としたフロン排出抑制法が2015年4月に施行されました。フロン冷凍機や空調機器の点検などの法規制を遵守し、さらにフロン類の回収・充填方法の改善や機器運転中の管理強化でフロン漏洩の防止を図っています。

また、プロセスで使用しているフロン冷凍機について、低GWP(地球温暖化係数 Global Warming Potential)のHFCもしくはノンフロンを冷媒に使用する機器への更新を計画的に進めています。

地球環境問題:プラスチック資源の循環

プラスチック資源のフロー (UBE 2023年度実績)

(単位: トン)



2022年4月に施行されたプラスチック資源循環促進法では、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出抑制や再資源化等への積極的な取り組みが求められています。UBEでは、これまでプラスチック資源の有効利用に取り組んできており、2023年度は52%の再資源化处理率を達成しました。今後、プラスチックの資源循環を、より一層促進していきます。

集計範囲: UBEの8事業所(堺工場、宇部ケミカル工場東西地区、宇部ケミカル工場藤曲地区、宇部電子工業部材工場、宇部研究所、医薬研究所、みらい技術研究所、大阪研究開発センター)